

11月28日(月)

現 実 に あ る 神 の 力

聖書朗読 創世記 6：13～21

わたしは・・・平和をつくり、わがわがを創造する。わたしは主、これらのすべてを造る者。
イザヤ 45：7

ノアの箱舟の話は本当です。洪水は現実にあったのです。神様はノアに言いました。「今わたしは、すべての肉なるものを地とともに滅ぼそうとしている」。そして実行されました。この世のすべての生き物を滅ぼされたのです。

ノアの救済も事実です。神様はノアと彼の家族を救済することを選ばれたのです。そして選ばれた彼だけが生き残った人間となりました。なぜですか？ それはノアが神と共に歩んだからで、神様の好意により彼と彼の家族は救われました。

後段の箇所、私たちはとてつもない大きな神様の絶対的な力に出くわします。それは滅ぼす力と救済する力です。神様だけがこのような力をもっておられるのです。しかしその中には神聖さや栄光も見ることが出来ます。

神様の力の実体をちょっと考えて見ませんか。神様の怒りや素晴らしい恵みについての現実を考えてみましょう。そして神様の御力が過去も現在も未来もあなたにある様、神様を崇拜し、賛美し、称賛しましょう。

『わたしが主である。ほかにはいない。・・・平和をつくり、わがわがを創造する。わたしは主、これらすべてを創造した者。』(イザヤ 45：6～7)

讃美歌 第二編 63

祈り 天のお父様。あなたを礼拝し、賛美します。あなたのほかには神様はいません。

イエス様の御名により。アーメン。

シャック・ブライアント
テキサス州 ラボック

今日の力

2016年11月28日～12月4日

翻訳 井上輝彦

編集 岩田欣三

この冊子の聖句は、新改訳聖書第三版を使用しています。

御茶の水キリスト教会

11月29日(火)

正しく嫁を選ぶ

聖書朗読 創世記 24：1～11

同じように、夫たちよ。妻が女性であって、自分よりも弱い器ということをわきまえて妻と共に生活し、いのちの恵みとともに受け継ぐものとして尊敬しなさい。それは、あなたがたの祈りが妨げられないためです。 Iペテロ 3：7

インターネットを利用してデートが出来る今の時代は、自分の人物紹介を作成する事により、未来の配偶者を探し出すことがずいぶん簡単になりました。

神様はアブラハムにカナン之地を彼の子孫のものにするという約束をされました。そして明らかに彼の息子とその嫁は神様の計画の遂行に重要な役割を演じる事になります。アブラハムはイサクがカナンの娘と結婚することが無いように意を決します。

何故アブラハムがイサクの妻を探すために信頼しているしもべを送り込んだかは私たちが理解できない所があります。しかし最も重要な目的に注目すべきです。夫が完全でないように完全無欠な妻はいないでしょう。しかしアブラハムはイサクの為に神様の意思と約束を実行する助けとなるような妻を探すことを決心したのです。

もし独身なら、神様へ忠実に奉仕をする献身的なパートナーを配偶者として選ぶ重要性を追い続けましょう。もし結婚していた場合は、私たちが神様の意思に従う事を助けてくれる忠実な配偶者に絶えず感謝すべきでしょう。

讃美歌 430

祈り 主よ。私たちが下す決定がどんな影響を及ぼし、生活がどう変わるのかわかりません。私たちの意図がいつもあなたに仕え、あなたに栄光を帰し、目的に向かってあなたの導きを信頼できるよう祈っています。

イエス様の御名により。アーメン。

リチャード・ウォルフ
カンザス州 オレイス

11月30日(水)

後ろにいるのは誰

聖書朗読 創世記 26：18～25

主があなたがたのために戦われる。

出エジプト 14：14

井戸は配管が整備された水道が使えない農民や牧場従事者にとって死活問題になります。ゲラルの羊飼いたちがイサクの掘った井戸を、「この水はわれわれのものだ」と言うのでイサクは余儀なく他の場所に移りました。

話の後半からでも明らかなようにイサクは戦いを仕掛ける事が出来たけれども、彼はそうはせず、二度も別の場所に移動してそこで井戸を掘りました。なぜですか。

それは正に、イサクは神様が力添えしてくれることを知っていたのです。三番目の井戸を掘った時には争いがなかったので彼は「神は私たちに広い所を与えて下さった」と言いました。彼は神様が共にいて下さり、また祝福してくださるというはっきりした約束を信頼していました(創世記 26：24)。

誰かがあなたに悪いことをしましたか？ 仕返しをしたいと思いますか？ あなた自身を正当化するためですか？

あなたは、戦わない事を恐れるかもしれません。イサクはその様だったに違いありません。と言うのは神様が「恐れるな」と言っているからです。あなたの後ろに神様がしてくださると仕返しをするという気にならなくて済みます。さらにもっとよく言えば、他人を自由に祝福しあなた自身をアブラハムの家族の一員とするのです。

讃美歌 280

祈り 主よ。あなたは私たちの為におられるという事、あなたは私たちを守る方で友人である事を思い起こさせてください。また、その真実のなかに身を置けるよう助けて下さい。また出会う人々にあなたの祝福を共有できる自由を与えて下さい。

イエス様の御名により。アーメン。

ランク・シェルブーン
テキサス州 アビリン

12月1日(木)

和 解 の リ ス ク

聖書朗読 創世記 33:1~12

これらのことはすべて、神から出ているのです。神は、キリストによって、私たちをご自分と和解させ、また和解の務めを私たちに与えてくださいました。

Ⅱコリント 5:18

20年前にエサウは、彼の弟が家督相続権と祝福を奪ったとして、弟を殺そうとしました。それでヤコブは、エサウの怒りが収まらないので国元を離れ、そこで過ごしました。エサウの復讐のリスクに接しながら、ヤコブは兄の心を和らげようと贈り物を送り続けました。そして、罪の意識をもって、ヤコブは和解の可能性が否定されるリスクがあったけれども謙虚に対面するために故郷に帰りました。そして彼は報われました。

一度壊れた関係は、どちらか一方が不信のサイクルを断ち切り新たな痛みのリスクを負うときにのみ改善するのです。疎遠の壁は頑丈であっても、誠意をもって赦しを乞うことは、その壁を打ち破るほどに十分強力です。イエス様は私たちが要求しなくても許すことによって和解の究極の例を示されました。そしてイエス様は、復讐よりも関係の修復に価値を見出す愛を実証されました。何故ならば裏切りは神様を遠ざけ、イエス様が私たちが負うべき罪を被られました。そして私たちは神様との和解を成し遂げたのです。イエス様はご自身の例に従うよう呼びかけられ、主が私たちを愛したようお互いを愛するように呼びかけておられます。

讃美歌 511

祈り 天のお父様。あなたの霊の力によって私が傷つけた人と和解できますように、またあなたから遠ざけられている人との仲立ちが出来ますように導いて下さい。

私たちの罪を被り私たちを義とされたイエス様を通して。アーメン。

スティーブ・スチュアート

ニューメキシコ州 グラント

12月2日(金)

罪 人 か ら 支 配 者 へ

聖書朗読 創世記 41:14~16, 32~40

私ではありません。神がパロの繁栄を知らせてくださるのです。

創世記 41:16

ヨセフは彼の限界を心得ていました。また彼は神様の力をしてその限界を突破できる事も知っていました。パロの夢を解釈することが出来るのは、ヨセフ自身ではなく神様が彼を使って出来る事だと知っていました。その結、果彼はエジプトで王に次ぐ高官となりました。

ヨセフのように私たちすべてに限界があります。しかし欠点をあまりに気にして自己を過小評価してしまい、失敗と考え不完全なところに着地してしまいます。それとも正しく見つめていると考えないで他人から嫌われることを恐れます。

私たちは一夜にしてそのような感情を拭い去ることは出来ません。しかし私にいい方法を提案させてください。私たちに何が足りないかに固執するよりも、神様が私たち各々にしてくださる事を考えてみませんか。まず第一段階として、神様は、援助を受けずに出来る能力を超えて私たちをお使いになることがあるという確信を持ちましょう。次に神様の栄光に対して出来るだけ力強く私たちを使ってくださるようお願いしましょう。そうすれば胸躍るような驚くべき事がキリスト者に起こるでしょう。それはヨセフのように神様の御業に対して自分自身が近づく手段となったように。

讃美歌 第二編 59

祈り 主よ。あなたの御力によって私たちの力のすべてを使ってください。

イエス様の御名により。アーメン。

トニー・アッシュ

テキサス州 アビリン

12月3日(土)

与える幸い

聖書朗読 出エジプト 25:1~9

弱い者を助けなければならないこと、また、主イエスご自身が、「受けるよりも与える方が幸いである」と言われたみことばを思い出す・・・ 使徒 20:35

財源について注目してみましょう。しかし商売や建物や予算の為ではありません。人間の霊的な動機の為です。なぜ神様は捧げものを持ってくるように言われたのでしょうか。神様はお金の必要はないし、住むべき建物も必要なかった筈です。パウロが言うように、この世界とその中になるすべてのものをお造りになった神様は、天地の主ですから、手でこしらえた宮などにはお住みになりません(使徒 17:24)。

私の創造主は与える事を学ぶように望まれています。なぜならそれが私の霊的な活動の中心だからです。神様は私を造られました。また私の事をよく知っておられます。私が霊的に問題だと思うのは、罪の中心に私がいる事です。聖霊はそんな私(たち)自身の自己本願や自己愛を取り除き、利己的な考えを入れ替えてくれます。主は私たちがよく打ち消すことを正当と主張されませんか？ 与える事は受け取ることより健全ではありませんか？ これらの疑問を正したことはありますか？ 恐らくないでしょう。なぜなら受け取るとは欲張り、嫉妬、貯めこみ、自己満足や強い性欲と同義語になり得るからでしょう。これらは霊的な自殺行為であり、創造主はそれらから解放して下さるのです。主は、私が与える事を望んでおられます。それは必要だからです。主は何も必要としません。「神は愛するがゆえにその一人子を・・・」主は私にもその寛容な性格を現すように望んでおられます。主は与えられました。そして私は主がどんな方かを理解しました。そして、私も主のようになりたいと思いました。神様はあなたにどのように「捧げものを持って来なさい」と言われるのでしょうか。

讃美歌 391

祈り 私たちの天のお父様。あなたの霊によって私たちが祝福され、他人をも祝福することを思い起こさせてください。
イエス様を通して。アーメン。

ボブ・マイゼ
テキサス州 ラボック

12月4日(日)

私たちに与えられたもの

聖書朗読 土師 12:1~6

あなたがたの光を人々の前で輝かせ、人々があなたがたの良い行いを見て、天におられるあなたがたの父をあがめるようにしなさい。 マタイ 5:16

私は旅行者です。他人が私をアメリカ人とどのようにして分かるのか、あるいは英語を母国語としない人の英語を聞いてどこ出身かを知る事は興味深い事です。例えば、ウクライナで1990年代の初め頃、私はアメリカ人としてリュックサックと靴を与えられました。——それらはウクライナで当時手に入る物では合わなかったからです。

英語を母国語としない人の英語を研究すると、彼らの話す英語には特徴がある事が分かります。ロシア人はthの発音がうまくできず。日本人はrとlの発音に苦労しています。ブラジル人はrとhで始まる単語の発音には慣れていません。

今日の聖書朗読箇所ではエフライム人が、敵からシボレテと言う単語の発音を強制され、その言い方から本性がばれてしまいました。——結果は殺されました。

人々は私たちがキリスト者と言う事をどうして分かるのでしょうか？ イエス様は言われました。『あなたがたは、実によって彼らを見分けることができるのです。』(マタイ7:20)。

人々は私たちがキリスト者である事を私たちの実によってわかるのですか？ 実——私たちの言葉？ 私たちの行動？ 私たちの思いやり？ 私たちキリスト者に与えられたものは確かに良いものでしょう。そして確かに私たちが誰に仕えているかを、人々が分かるように行動しましょう。

聖歌 673

祈り 天のお父様。私たちの光が輝くように助けて下さい。人々が私たちの行動を見て、私たちの言葉を聞いて、私たちがあなたのしもべであることを知る事が出来ますように。

イエス様の名前にて。アーメン。

ジョシュ・ボイド
インディアナ州 ラフィエット